

**講演**

# 「呆ける人・呆けない人」

佐々総合病院

平塚 秀雄先生

1.はじめに  
人生80年の時代になりました。平均寿命では、日本はついに世界一の長寿国となつたのです。それと同時に、急速に高齢化社会が進んでいます。高齢になればなるほど痴呆になる率が高くなりますので、痴呆老人の人口も、現在の一〇〇万人から、二〇二〇年には二九〇万人になると推定されます。平均寿命が延びることは好ましいことです。

「ボケてまで長生きしたくない」というのが、だれしもに共通した思いです。

脳についての正しい医学的知識を得て、自分の脳や心の健康に関心をもち、それを維持するために役立てるることは大切なことと思します。脳の仕組み、痴呆はどういうことか、そのメカニズムなどを理解することは、痴呆の人を治療し、介護し、ひいては痴呆の予防を考える上に重要です。

3. MRI（磁気共鳴画像）  
これは、CTについて新



「ふ、な、わか、わら、

長年、脳の病気と取り組んできた者として、経験した実例に則して、これらのことがらを考えてみました。

## 2. 症例

45歳の公安関係者は、ストレスにまみれた昼夜の区別もない程の生活でした。職場でもの忘れが目立ちはじめ、行動異常も見られるようになり、周囲から「ちょっとおかしいんじゃないかな」と思われるようになります。書類を書こうと思ったことがあります。駅に降りたが、家に帰る道がわからなくなつたこともあります。発症して10カ月、診察するところに進行した痴呆状態で、言語の理解力、記憶力、計算力、見当識などが障害されました。MRIで検査すると大脳に多数の梗塞が見られ、脳血管性痴呆と診断されました。もちろん老化による痴呆ではなく、苛酷なストレスにみちたライフスタイルが誘因となつた多発脳梗塞が原因だったのです。

4. 脳の老化  
脳は、20代半ばまで成長しつづけ、30代半ばで最も充実し、50歳頃から急速に萎縮が進みます。最盛時140億個あった神経細胞は、1日10万個ずつ、30年で10億死んで行き、再生することはありません。これは自然経過で止むをえないことです、が、神経細胞を劇的に

しく開発された診断法です。脳がどのような状態になつてあるかを一目瞭然に示します（図1・2・3）。

## 5. 痴呆の予防

ボケ予防のカギは①脳の減らす病的老化があります。それは、①脳血管障害（脳梗塞や脳出血）、②脳の原発性変性（アルツハイマー型痴呆）が2大原因です。しかしその他、痴呆の原因になる脳の病気は多数あり、内科的治療でなおるもの、脳外科の手術で劇的になる痴呆もあるのです。これらには、正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、脳腫瘍などがあります。

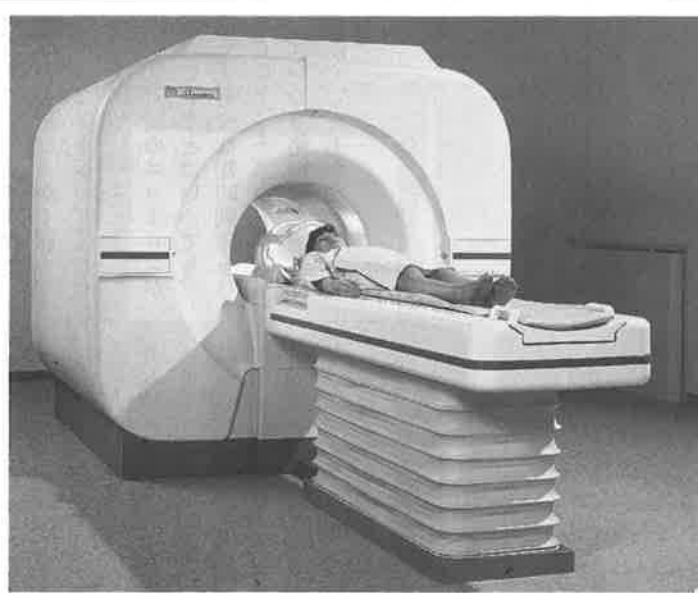


図1 MRI

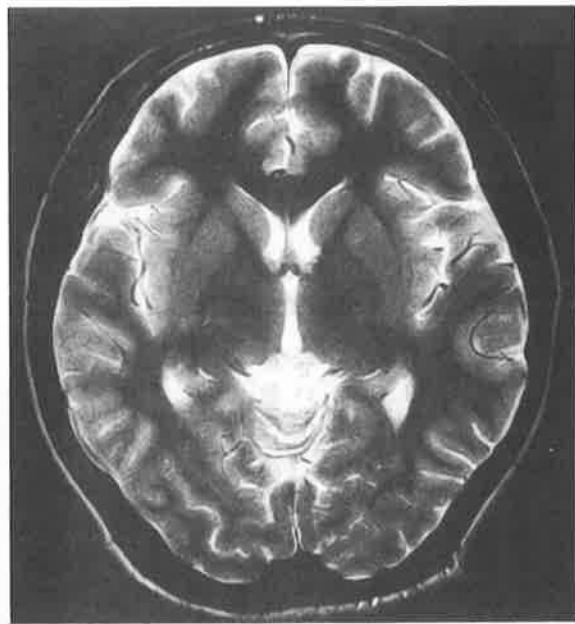


図2 脳の断面像（右上）

図3 MRIによる脳の血管（右）

図4 無症候性脳梗塞（左上）

矢印の白い部分が脳の虚血部分。



## 1995年同窓会名簿 会計報告

1995年12月に薬学部同窓会の新名簿が発行されました。発行に際して、会員の皆様方にはご協力を頂き、誠にありがとうございました。名簿の会計報告をさせて頂きます。なお、赤字を回避する意図から、予約なく名簿を郵送致しまして、一部の会員の方々に大変ご迷惑をお掛け致しましたことを深くお詫び申し上げます。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

収入	支出
広告掲載料（16件） 1,120,000 円	名簿印刷代（郵送料込み） 4,081,090 円
名簿売上げ（727件） 3,635,000 円	着払い郵便料金など 1,310 円
寄付等 6,000 円	
収入合計 4,761,000 円	支出合計 4,082,400 円
	残金 678,600 円

ニューロンの若さを保つ、  
②血管をやわらかく保つ、  
③健康な体を保つ、④健全  
な心を保つ、の4力条です。  
1日10万個のニューロンが  
減っていくとはいっても、  
絶えず新鮮な知的刺激を与  
えることによって新しいニュ  
ーロンの連絡ができ、老化  
を防ぐこともわかっています。

- ◇ ニューロンの若さを保つ、  
ボケを早期に発見して予  
防しようということで「脳  
の人間ドック」が行われて  
います。MRIで症状のま  
だみられない脳梗塞（図4）  
を発見したり、長谷川式簡  
易知能評価スケールや、か  
なひろいテストにより診断  
して効果をあげています。
- ◇ 6. 脳ドック

# 「実践社会薬学」を開講

平成8年春、第一線で活躍する卒業生が学部学生に「世の中で役に立つ薬学」を講義する計画が実行に移されました。

幹事会での発案から二年

がかりで企画していたもの

で、(1)急激に変化しつつあ

る薬学と薬剤師の周辺を学

生に少しでも知つてもらい、モティベーションを高める。

(2)在学生に同窓会の存在をアピールする。(3)卒業生と

大学のきずなを強固なものにする。(4)同窓会 자체の活性化を計る、などの期待を持たれました。

土曜の午後、3時間ずつ

6週間にわたるという、学

生にとって必ずしも都合の良い時間帯ではなかつた

のですが、予想以上の好評を得て高い出席率を記録しました。

講義中の私語、居眠り、退席者もなく、社会人の先輩たちが繰り広げる名講演

がかりで企画していたもの

(?)に耳を傾けていました。

講師は、同窓生の中から自薦他薦の18名にお願いし

たのですが、表題通り、理大や他大学で教職に就いている方々を除いて、製薬

会社関係・病院・調剤薬局、

行政など、様々な分野から選ばせて頂きました。

来年も開講する予定です。

講師にふさわしい同窓が身近におられましたら、ぜひ同窓会事務局までご一報下さい。

## —行政から見たこれから薬剤師への期待と責任—

石井甲一 (11期生)

1. 「実践社会薬学」という講義の開催経緯と意義

○薬学部卒業者は、社会においてどのような貢献をしているのか。社会はどうのよに見ているのか。医学部卒業者=医師、薬学部卒業者=?

○薬学部卒業者は、どのような社会貢献をしているのか。これからどのような貢献をしていかなければならぬのか。

○将来の自分の進むべき方達等)

向を見据えて、薬学を修めることは重要ではないか。

そのためには、医薬品のライフサイクルの各段階における諸問題を、卒業者が経験に基づいて解説することは、学生にとって有意義ではないか。

・医薬品を中心を見てきたことへの反省

・患者と医療を理解した上で、医薬品を取扱う必要性

・実習を伴わない現在の薬学教育への不満

3. 医薬品の開発から使用まで

○医薬品の開発から使用までの各段階と薬学部卒業

○医薬品の審査 (医療用医薬品、一般用医薬品、血液製剤、丸山ワクチン等)

○保険医療の経済的評価 (薬価、診療報酬、調剤報酬等)

○医薬品産業の推進 (医務行政の取りまとめと薬剤師の身分・業務に関する業務)

○医薬品の開発から使用までの各段階と薬学部卒業

作用情報の収集・分析・伝達等)

○麻薬対策 (乱用防止・取締、適正使用確保等)

○外務省への出向 (各種基準の作成が貿易に不利益にならないような国際協定の実施等)





がわからなければ、服用することは出来ない。薬といふのは、添付文書のような情報が付いてはじめて役に立つのである。

特に、一般薬と違い、患者にとって処方箋により調剤された薬は、薬袋の記載事項と薬剤師の服薬指導が唯一の情報源であり、どちらか一方でも欠けてはいけないのである。

ところが、過去において十分な服薬指導がなされていたかというと、疑問を残さないわけではない。

患者のQOLを第一に考えた調剤とはどのようなもののか。

この講義では、最先端を行く「薬局の外来調剤」をご紹介します。

(富士見台調剤薬局)

## 「在宅医療」

伊集院一成(25期生)

薬剤師は、医療従事者として、医師、看護婦とともに明記されたことにより、町の薬屋さんのイメージから一步踏み込んで、医療人として薬の供給(調剤)の分野で医療に携わることになった。

また、平成6年3月より、在宅薬剤訪問管理指導が新設されることにより、在宅医療の分野に参画することになった。

在宅医療は、薬局における新しい業務であるため、学問的な裏付けが確定していない分野もあり、現在

様々な形で試みられている。将来的には、外来調剤業務と並んで、開業薬局の業務の柱となるものであろう。

本講義では、在宅医療の一般的な流れを説明する。次に、患者の問題点を検討するため有効な評価方法であると考えられるSOAP方式を取り上げ、実際にSOAP方式を用いた患者の評価例を紹介する。同時に、その評価を行うためには、どのような知識が必要なのかということを簡単になつた。

この講義では、最先端を行く「薬局の外来調剤」をご紹介します。

(富士見台調剤薬局)

に説明する。

さらに、在宅医療に携わる薬剤師としてこれから何を学んでいかなければならぬのか。

ないのか、ということについても言及する。

(ホームケアファーマシー)

## 社会薬学講座によせて

島谷克義(4期生)

薬学を勉強する人々が、薬を学問という科学的な側面からのみでなく、社会の仕組みの中での薬の位置づけという別の側面も学ぶことにより、薬の本来もつべき意義や価値を総合的に理解できるようになることが、今回の講座の目的であると思います。

製薬会社は、その仕組みの中で、常に科学の最先端の技術を応用して、高い有効性と安全性の保証された医薬品を、創製し、開発し、製造し、関連情報とともに医療の現場に供給していくという重要な役割を担っています。

既に社会に提供された医

- ◇
- ◇
- ◇
- ◇
- ◇

(サンド薬品株)

## 薬局で売っている薬(OTC医薬品)と医療用医薬品の違いは?

大川和宏(5期生)

島谷克義(4期生)

一般用医薬品の開発から使用まで、製薬企業の各部門がどのような連携で業務遂行しているか、開発、許認可取得、販売・広告及び薬局(店)への情報提供等の各部門の業務について紹介した。

特に、開発部門では他社品より優位性を發揮させるために、スイッチOTC医薬品及び基準外製品の開発に注力している。一方、医療用医薬品と違って、消費者が自分で薬を選択し、購入することから、ブランド・価格・表示・便利性等を充分考慮し開発されていることも説明した。

また、最近スイッチOTC医薬品等シャープな効き

人に投与されて薬の有効性と安全性を調べる臨床試験を行なうには、まず動物を使つて薬の生理作用がテス

## 非臨床試験

寺山博行(7期生)

目を持った製品も多数上市され、これに伴い重篤な副作用発症も報告されている。これを未然に防止すべく、かぜ薬・鎮痛解熱剤においては、平成7年11月から、消費者に広告物(テレビ・新聞等)で服用前に薬剤師等に相談するよう注意喚起し、薬局(店)では、服用指導の徹底を図るべく製薬企業から依頼したこと。更に、今後は全ての一般用医薬品においても、企業には薬局(店)への情報伝達の徹底が、薬局(店)には服用指導の徹底及び消費者の適性使用が要望されている現況を説明した。

(エスエス製薬株)

トされる。ここでは、薬の毒性(急性・慢性毒性、催奇形性、変異原性、癌原性など)に加えて、薬の品質・均一性や安定性等の物性に関する試験や、薬がどのように吸収、分布・代謝・排泄されるかを調べる、いわゆる薬物動態試験がなされる。これらの試験は総称して「臨床(前臨床)試験」と呼ばれ、その詳細は医薬品製造指針や各種ガイドラインに定められている。

今回の講義では、医薬品開発の一プロセスとしての非臨床試験の概要を解説し、薬の安全性を如何に確認し、人に投与するに適当な物であるかを科学的に評価することが如何に重要であるか、また、この分野においても薬剤師の果たす役割が大きい期待されていることを紹介した。

◇

薬の開発の成功例、失敗例  
医薬品の開発プロセスについての講義は、極めて教

## — 薬価、医療保障制度 —

長野 明 (9期生)

・日本の医療保障制度は――「国民皆保険」、「自由開業

科書的で、学生諸君には難解でもあり、興味をそそるテーマではない。そこで画

期的な新薬開発の成功例として知られ、しかも現在も広く汎用されている医薬品の一つとして抗潰瘍剤(H<sub>2</sub>受容体拮抗薬)シメチジンを取り上げ、医薬品開発の実例を通して、学生諸君が医薬品開発の実態を少しでも実感として理解してもらうようにした。

講義では、まず消化性潰瘍の病態とその原因を解説し、期待される薬剤の生理作用と化学構造との相関関係について解説した。また、この薬剤の開発過程では、多くの研究者がどのように考え、判断し、行動したかに力点を置いて解説し、医薬品開発過程での失敗を如何に克服し、成功へ導いたことを紹介した。  
(スマスクライン・ビーチャム株)

国となつた主な要因の一つとして位置づけられている。  
・近年の経済基調の変化と高齢化の進展により、各医療保険財政は深刻な赤字構造に陥っている。十数年来実施してきた様々な医療

薬品については、従来価格抑制策に片寄りがちであったものを「適正使用」をキーワードに量的側面にスポットをあてた抑制策が実施されることになる。

・このような状況の下、医薬品について、従来価格抑制策に片寄りがちであったものを「適正使用」をキーワードに量的側面にスポットをあてた抑制策が実施されることになる。

## 実践社会薬学を経験して

大瀧由美子 (10期生)

卒業以来、薬学教育といふものにはほとんど注意を払わなかつた私ではあります  
が、今回実践社会薬学の実施グループに参加させて頂き大変貴重な経験を致しました。この企画は、薬学

というものを、私の属している製薬会社という枠の中で考える機会を与えてくれました。私が受け持つ

ことはたくさんあります  
たが時間が短く、表面的にはしまつたかもしれません。しかし、学生の皆さんは、教科書にない生の社会を、そして私達には広く医療の現場で活躍する諸先輩とのコミュニケーションを与えて下さったこの企

## 医薬品開発における創薬

伊佐治正幸 (15期生)

の研究成果にあるのではなく、それを駆使して医療に貢献できる薬を開発することにある。そのためには、自分の専門性に磨きをかけると共に、医療動向、医療現場のニーズさらにはヒトの病気を十分に理解し、目標を見据えて多彩にアプローチすることができる能力を身につける必要がある。これこそが薬学生のカラーである。  
(キッセイ薬品工業株)

医薬品開発の一般的な流れは、探索研究において候補化合物を選び出し、その後詳細な薬理作用、安全性および体内動態を解析し、臨床試験でヒトにおける効力および安全性の検討をして申請に至る。創薬研究は、医薬品開発の一番初期の探索研究部分に位置し、最新技術を取り入れて新規なスクリーニング系を構築し、効率的に候補化合物を選び出すことに主眼が置かれる。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

◇ ◇ ◇ ◇

◇

◇

◇

◇

◇

画に感謝しております。そして今後、在学生のみならず、広く卒業生にも聴講の門戸を開いて頂きたいと思つております。この企画が毎年継続され、新しい情報等を組み入れ、さらに充実したものとなることを望んでおります。(㈱ツムラ)

## 日本薬剤師会の活動

向井呈一（11期生）

日本薬剤師会は、薬学及び薬業の発展を目的に設立された公益法人で、薬剤師の全国団体であり、薬剤師の職能の確立と発展のために、各種事業を積極的に展開しております。

私の勤務する医薬品情報部門では、薬の問い合わせへの応答、情報の発信、データベースの構築などの業務を行い、会員へのサービスを行うとともに、市民に薬剤師の存在をアピールする活動を行っています。

私のテーマは「医薬品流通における卸の役割」でした。医薬品卸業は製薬企業と医療機関等の中間に位置し、医療に必要な医薬品を安定供給するという基本的な使命があること。医薬品の品質・有効性・安全性を

## 卸の役割

富田紀子（3期生）

確保しながら医薬品を販売しなければならないことより、薬事法やその他薬事関連法規、制度等の規制を有していること、販売活動に伴う医薬品の情報収集・伝達・検討・提供という重要な役割があること、この中

がいのある仕事をできる環境は整ってきております。これから薬剤師になられる方が就職の選択肢の一つに薬局も加えていただければと考えます。

上田の医薬分業

飯島康典（12期生）

上田薬剤師会の会員数は、  
今年4月現在289名、会  
員薬局数は77軒で、ほぼ人  
口2500人に1軒の割合  
で薬局が存在する。

医薬分業の推進は組織的個人レベルでは何をやるにも限界がある。集まって智慧を出し合える拠点と、事

出ることを常に考えるよう  
に。服薬指導や混注等の院  
内業務への積極的参加をす  
るよう。服薬指導は出来る  
なら毎日ベッドサイドに行  
くよう心がける。患者さん  
に薬が実際効果があるのか、  
副作用が出てないか、指示  
通り服用しているかなどを

加。在宅医療への参加などが上げられますが、今後益々薬剤師の職能が重要な要素になってくることは間違いないと思います。後輩の頑張りを期待します。

病院薬剤師(1)

久保田昭恵（11期生）

東海大学病院（1133）は1975年開院以来、外来患者ほぼ全てに院外処方箋を発行し、院内では入院患者のみ調剤をしている

病院です。1988年4月より病棟に進出し、現在6導業務を実施し、若手薬剤師（卒業後2、3年目より）

医師の視点から

中瀬古一郎（10期生）

認知された。

(上田・イイジマ薬局)

が順次病棟業務を経験しています。

今回、糖尿病患者のインスリン導入、CAPD（持続的携行腹膜透析）腹膜炎、モルヒネ大量長期投与の3症例につき、薬剤師の患者・医師・看護婦との関わりを中心にお話ししました。

学生より「将来的には専

門薬剤師になるのですか」と質問がありました。私は

内科全般で病棟業務の経験

を積んだ後に、専門薬剤師

が誕生すると考えています。

その他、病院薬剤師の労

働環境（当直など）、共働

の状況も取り上げました。

（東海大学病院薬剤部）

## 病院薬剤師（2）

小高 隆（18期生）

病院薬剤師の業務も現在、非常に多岐に渡っており、各施設間でも業務の内容に差が出てきている。さらに、薬剤の適正使用に必要な情報は患者に提供しなければならない、と調剤の一部として薬剤師の義務として明示された。当院では、調剤する上で(1)正確、(2)迅速、(3)安全の3項目に重点を置いて取り組んでいる。その一つとして、正確で安全な調剤を行うために独自の調剤上の区分として、抗癌剤、血糖降下剤等を注意薬剤と

（虎の門病院薬剤部）

非常に多岐に渡っており、各施設間でも業務の内容に差が出てきている。さらに、薬剤の適正使用に必要な情報は患者に提供しなければならない、と調剤の一部として薬剤師の義務として明示された。当院では、調剤する上で(1)正確、(2)迅速、(3)安全の3項目に重点を置いて取り組んでいる。その一つとして、正確で安全な調剤を行うために独自の調剤上の区分として、抗癌剤、血糖降下剤等を注意薬剤と

# ひとつこと

この『ひとつこと』欄は、同窓会への返信用葉書のメモを中心まとめたものです。

1年経ちましたが楽しい毎日です。  
（4期 幡野 千不子）

久しぶりに薬学部を訪れましたが、建物の老朽化と周辺の整備の悪さに驚きました。受験生の偏差値の高さに甘んじていると、将来じり貧になる心配があります。学内の先生方のアクティビティはいかがですか？

（5期 渡部 一仁）

（3期 井上 七郎）

25年勤務した旭化成工業

を昨年8月に退社し、9

月より富山のティカ製薬

に移りました。単身でこち

らにきていますが、よい環

境に恵まれ、素晴らしい仲間

達と小さいが前向きな会社

で楽しく仕事に精を出して

います。確かに交際費、厚

生施設等（給料も？）劣る

面もありますが、人間らし

く生き、自分に納得する人

生を送るということは何な

いふうと問い合わせる日々

です。（1期 光井 英基）

（3期 高橋 照子）

18日は勤務のため出席で

きませんが、御盛会を祈り

ます。小生、長野県病薬及び長野市薬の副会長を通じ、

地域医療に貢献できればと努力しております。中小病

院の薬剤部長も楽ではありません

4月の薬価改正に伴う服薬指導等の変化に対応するためにあれもしなければこれも……とバタバタした日が続いています。でも少し

が続いています。でも少し老人保健施設「あんず苑」（武蔵境）で相談員として、地域住民と施設とのつなぎ役をしています。実際には、ボランティアのコーディネーターといったところです。

本年は、創立10周年を迎え、また、高等専

講演会に出席したいと思

いましたが、寝たきり老人

（私の母）の介護のため、

欠席致します。母のボケを

見ていましたが、寝たきり老人

（私の母）の介護のため、

欠席致します。母のボケを

見ていましたが、寝たきり老人

（私の母）の介護のため、

欠席致します。母のボケを

見ていましたが、寝たきり老人

（私の母）の介護のため、

欠席致します。母のボケを

見ていましたが、寝たきり老人

（私の母）の介護のため、

・ 東京都病院薬剤師会の臨床薬学研究会では8回目（8年間）の皆勤賞をとりました。

・ 薬事新報社よりMRについて書くように話がありましたので「外資系企業のMR活動について」と題し

て書きました。そのうち載つた。また、最近、アルミニ

ウムの脳への毒性（アルツハイマーの一因と言われていますが）なども知りたい

と思いますので読んで下

さい。

・ 日本病院薬剤師会雑誌2月号に会員報告「注射剤

ならびに点眼剤の添加剤について」を載せました。

・ 去年と今年と2回、日

病薬の認定薬剤師になりま

した。（5期 加藤 優子）

本年は、創立10周年を迎

えました。（4期 幡野 千不子）

修学校の講師、鍼灸の治療院の運営の3本立てとなって大変に忙しい毎日を送っています。

(10期 鈴木 淳山)

「勉強したいなあ」という仲間たちで「メディカル・アイチ」と名づけて、月1回、名城大学薬学部医薬情報センターの大津史子先生のご協力を頂き、手づくり学習会を行っています。

(12期 犬飼 陽子)

勤め(製薬会社)10年、子育て10年、再び就職。今度は教員です。若い先生方にまじり、新任です、などとやっています。教職も楽しいですね。

(12期 沼尾 とみ子)

昨年、調剤の仕事を再開しましたが、ブランクが長かったため、昔の知識では追いつかず、「横浜レディース会」に所属して講演会に参加しております。

(13期 池田 公子)

昨年3月RK手術を受け、地元上野原中学校の講師で理科を教えております。山梨県で理大の評価が高いのに驚いています。母校の名をかけすことのないよう

努めています。

(14期 細田 路子)

現在、ガンと闘い、病気療養中です。ここ4~5年はそのために仕事らしい仕事をしております。1日も早く社会復帰し、同窓会にも初参加できるようになりますが、私の夢です。皆様の御活躍と御健康を、秋田の田舎よりお祈り申し上げております。

(14期 佐々木 典子)

昨年の1月17日、阪神大震災に見舞われ、私の家も大部分の食器が割れ、家具の一部が破損するなどの被害に遭いましたが、おかげ様で家族は全員無事でした。あれから1年、神戸では急ピッチで復興が進んでおりますが、未だに仮設住宅に住んでおられる方や仕事をつける方などが多数おられ、改めて今回の震災のすごさを感じています。

(18期 山岸 正文)

北京にて駐在生活をしています。当地では生薬の研究と薬剤の研究とは別のことをしていますが、それそれで新しいことができて有意義と考えます。

(24期 宮川 辰治)

社会内移動で、抗痴呆薬のProduct Managerとなりました。タイムリーな講演会を喜んでおります。

で電車に乗って帰宅OK)方法が早期に保険適用になりますことを望みます。明日、夫がこの手術を受けます。

(19期 森田 容子)

昨年11月、主人が亡くなり、実家の近くの横浜に転居しました。

(19期 竹下 由紀代)

薬物治療学教室で唯一汚点をつくりており、気になっていました。肩の荷をおろしました。肩の荷をおろした

薬剤師の仲間入りを果たしました。気がします。社会人となつての受験は大変でした。学生のみなさん、現役の内にとるべき資格は、頑張ってとりましょう。

(21期 吉田 信哉)

北京にて駐在生活をしています。当地では生薬の研究と薬剤の研究とは別のことをしていますが、それはそれで新しいことができて有意義と考えます。

(24期 梶山 博)

昨年9月よりアメリカ・インディアナ州ブルーミングおよび経営学を専攻中です。

22期 富山 雅子  
(旧姓 遠山)  
平成8年3月27日

謹んでおくやみ申し上げます。

平成7年4月3日

18期	18期	10期	10期	7期	4期	3期	2期
宇田川 武彦	柳谷 みゆき (旧姓 島津)	磯田 啓子 (旧姓 土屋)	村松 米子 (旧姓 高橋)	田中 寿伸	生井 丈雄	緒方 千恵子 (旧姓 矢沢)	松田 勝彦 平成7年1月15日

18期	18期	10期	10期	7期	4期	3期	2期
宇田川 武彦	柳谷 みゆき (旧姓 島津)	磯田 啓子 (旧姓 土屋)	村松 米子 (旧姓 高橋)	田中 寿伸	生井 丈雄	緒方 千恵子 (旧姓 矢沢)	松田 勝彦 平成7年1月15日

18期	18期	10期	10期	7期	4期	3期	2期
東京都港区麻布台2-4-9 電話03(3224)7478(販売)	東京都港区麻布台2-4-9 電話03(3224)7478(販売)	米国におけるドラッグストアの変遷から経営のこつまで、かなり具体的な内容であるが、筆者が本当に言いたいことは、ドラッグストアがどうすれば生き残れるかということではなく、	『ウォルグリーン』松村清著、「商業界」刊、定価二〇〇円	『ウォルグリーン』松村清著、「商業界」刊、定価二〇〇円	『米国ドラッグストア研究』松村清著、「商業界」刊、定価二〇〇円	『米国ドラッグストア研究』松村清著、「商業界」刊、定価二〇〇円	『米国ドラッグストア研究』松村清著、「商業界」刊、定価二〇〇円



評

上村 直樹 (23期)

## 編集後記

「呆け」を、わかりやすく  
「呆ける人・呆けない人」  
は、今夏の同窓会総会での  
講演の要旨。演者の平塚秀  
雄氏は臨床医の眼から見た  
「呆け」を、わかりやすく

お話し下さいました。高齢化社会を迎えて今日的なテーマだったこともあり、例年になく多数の同窓が聴講した。要旨を読んでも臨場感は伝わりにくいが、幸いにして同氏の著作「呆ける人・呆けない人」が出版されているので、聴き逃がした方はご一読を。

人類は有史以来、不老長寿の夢を追いづけてきた。それを手軽に「くすり」に求めたことは古今東西の歴史が物語ってくれる。年をとった王様や権力者の多くが、富も名譽も手に入つたあとで「若さ」を求める。その挙句に、旅の詐欺師に欺かれる。これは古典文学の中でも、童話の中でも、「呆ける人・呆けない人」が出版されて

人間という弱い存在の心理の機微を突いてくるところが面白く、最もボビュラーナ題材の一つだ。

振り返って、我らの世代の日本では、高度医療の進歩と普及の恩恵で、癌でも罹患しない限り、あるいは事故に遭遇しない限り、簡単には人が死なない世の中になってしまった。

「子供、しかるな来た路じや。年寄り、笑うな往く」といふ言葉は、東京理科大学薬学部同窓会会報「東京理科大学薬学部同窓会会報」編集・東京都新宿区市谷発行・船河原町12平成8年12月10日発行／非売品

## 1995年度会計報告

東京理科大学薬学部同窓会  
1995年4月1日-1996年3月31日

収入の部		支出の部	
内訳	金額	内訳	金額
同窓会費	1,935,000	電話代	41,247
寄付その他	262,538	人件費	889,705
利息	125,050	事務用品代	206,440
		通信費	802,822
		会議費	53,950
		会誌発行費	187,305
		その他	37,090
合計	2,322,586	合計	2,218,559

前年度繰越金 24,181,453  
今年度残高 104,027

本年度繰越金 24,285,480  
内訳 定期預金 10,000,000  
郵便定期 11,549,512  
普通預貯金 2,735,968

以上の通り会計報告いたします。

1996年5月16日  
会計 牧野 公子  
和田 浩志



## 監査報告

会計報告の各事項を調査し、その収支ともに正確であることを認めます。

1996年5月18日  
会計監査 池北 雅彦  
岡宮 智子



いやはや、幸福な時代である。

長生きは手に入った。世界有数の長寿国である。そして今度はその「質」を問う。QOL（クオリティ・オブ・ライフ）という外来語で紹介されたこの言葉は、よくかみしめてみると「患者の生命・生活の質」ばかりでなく、「人の一生の質」をも問うてているようで含蓄がある。

長い人生の最終章近く。信州などに残る「姥捨山」の話（深田久弥「姥捨山節考」有名。映画化されたので、ご覧になった方もある）や、「恍惚の人」（有吉佐和子著。森繁久弥の主演で二十数年前に映画化された）などに見られる老人たちは、親として、人生の先輩として、家族の一員として、いつくしむべき存在と描かれている。「長幼序あり」などと威張るつもりは全くないが、年長者の経験には敬意を表す態度が、やはり好み。近ごろの核家族と個人主義の跳躍を思い比べると、うらやましいようでもある。でも、病気はこわい。

おじさんになつても、おばさんになつても、いくつになつても、勉強したいものだ。40・50・60の手習いでも良いじゃありますか。

◇ ◇ ◇

◇ ◇ ◇

◇ ◇ ◇

薬学部同窓会が行う「実践社会薬学」の講義が、大

学の正規のカリキュラムの一部に組み入れて頂けたこ

とは素晴らしいことだ。尽

力された関係者の皆さんに敬意を表します。